

学校評価アンケート

12月に実施した学校教育診断の結果がまとまりました。児童・保護者・教職員の診断内容の概要をお知らせします。

なお、グラフ右に示してある数値は、以下のような計算で表した評価値です。

$$\frac{\text{「よくあてはまる」} \times 2 + \text{「あてはまる」} - \text{「あまりあてはまらない」} - \text{「まったくあてはまらない」} \times 2}{\text{全回答者数}}$$

評価値は、最大2から最小-2で変動し、中間値が0となります。

1 児童による診断より

児童の回答は、評価値が1以上の項目は16項目中11項目である。課題となる評価値が0より低い項目はない。また、16の評価値の平均は、1.0であった。コロナ禍ではあったが、昨年度と比較してもほとんどの項目で評価値が増えているのは、子どもたちがつらい状況の中でも、前を向いてできることに精いっぱい取り組むことができた成果だと思う。

- ・項目8「学校ではみんなと仲良く遊びや勉強や運動ができている」は、「1.4」
- ・項目15「先生は、自分たちが間違った行動をしたときに、正しい行動をきちんと教えてくれる」は、「1.3」
- ・項目17「先生は相談にのってくれる」は、「1.3」

評価値が1.4の「学校ではみんなと仲良く遊びや勉強や運動ができている」と「命の大切さを教えてくれている」は、本年度の重点努力目標である「認め合い・学び合い、内にも外にも風通しのよい、安心安全な学校」に通じるものでもあり今後も意識して向上させていくようにする。「先生は、相談にのってくれる」の評価値は、1.4と高い数値になっている。コロナ禍において、不安を抱える子どもたちに応えることができたことは喜ばしいことである。

反面、低い値を示している項目は

- ・項目2「環境問題について日頃から意識していますか」は、「0.7」

「環境について考え、自分でできることを行動している」の項目は、一昨年0.4 昨年度0.6 今年度0.7と増加している。学校生活の中で意識して関わることに効果があったと思われるので、引き続き働きかけていくようにする。

2 保護者による診断より

保護者の回答は、昨年度と比較して半分以上の項目が減少している。これは、コロナ禍において学校行事も少なくなり、不安がある表れだと思われる。

昨年度も低い値であったが増加している項目として「子どもは環境問題について日頃から意識していると思いますか」は、今年度0.2ポイント上昇している。また、「人との関わりの中、役に立つことで自信をもち、将来の夢や希望（例えば大人になったらこうなりたいとかこうしたいということ）をもつことができるようになっていくと思いますか。」も同様に0.1ポイント上昇している。学校で意識づけ、日頃の生活の中で生かされる内容なので、今後も、意識し進めていく必要がある。

このような結果の中、子どもの姿を親が感じ、よい結果を得ている項目がある。

- ・項目1「子どもは学校が楽しいと感じていると思う」
- ・項目7「子どもは社会のルールやマナーを守っていると思う」
- ・項目8「子どもは学校ではみんなとなかよく遊びや勉強や運動をしていると思う」
- ・項目13「子どもは、運動会などの学校行事へすすんで楽しく参加していると思う」
- ・項目18「担任は、子どものことをよく分かってきていると思う」
- ・項目20「学校行事や授業参観などの保護者が来校する機会はお子さんや学校の様子を知ろうと有意義な機会となっている」
- ・項目24「北山小に子どもを通わせてよかったと思う」

「子どもは、運動会などの学校行事へ進んで楽しく参加していると思う」は0.5ポイント、また、昨年度低かった「担任は、子どものことをよく分かってきていると思う」は0.3ポイント上昇している。このような結果は励みになる。より一層保護者・地域とのつながりを大切にして取り組んでいくようにする。

3 教職員による診断より

教職員の回答は、昨年度同様コロナ禍においての影響が出ている。子どもに多くの制限を与えてしまい、満足した活動を行うことができなかったのではないかと自己評価が9項目での減少につながっていると思われる。また、「子どもが学校を楽しく感じられるよう工夫・努力している」の項目は、昨年度と比較し0.3ポイント減少している。

項目1「子どもが学校を楽しく感じられるよう工夫・努力している」1.3→1.0

工夫・努力をしていないわけではなく、むしろ対応していて、その結果、余裕のない学校生活を送ることになってしまったことはあったと考えられる。しかし、子どもたちに対して丁寧に接する気持ちは表れていて、10項目の上昇を得ており、「人との関わりの中、役に立つ喜びを感じることを通して自信をもたせるなど、子どもの将来の夢や希望を育むキャリア教育を実践している」の項目は、0.4ポイント増加している。これは、不安を抱える子ども達に、自己有用感をもたせ自信をもって行動する上で大切なことであり、意識を高くもち続けていけるようにする必要がある。

4 児童・保護者・教職員比較より

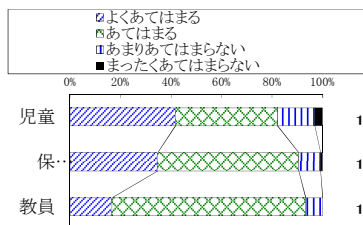
児童・保護者・教職員の回答を比較して、三者（項目により二者）の評価値は、似たような値を示しているものが多い、その中でも、「社会のルールやマナーを守っていますか」「学校ではみんなとなかよく遊びや勉強や運動ができていますか」の評価値は高く、安心して生活できていると考える。しかし、保護者の評価値のみが低い値を示している項目がいくつかある。「環境問題について日頃から意識している」は、学校で行っていることが、家庭に生かされていないことの表れだと考える。また、「子どもは、先生に相談できると考えていますか」は、「あまりあてはまらない」を選ぶ保護者が他の項目より多い。このことは、家庭での子どもの様子や、保護者に与える担任への安心感が満たされていないと考えられるので、真摯に受け止め改善していく必要がある。

5 まとめ

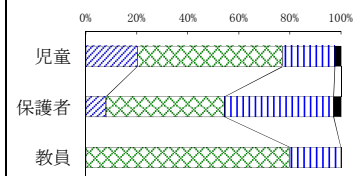
本年度の重点努力目標である「認め合い・学び合い、内にも外にも風通しのよい、安心安全な学校」にかかわる項目である「学校ではみんなとなかよく遊びや勉強や運動ができています」は、高い評価を得ることができている。しかし、学校の中での様子を参観する機会がほとんどなかった本年度は、保護者の不安を生み出してしまったと思う。ホームページでの情報公開を行っているが、満足できていない家庭もある。子どもが生き生きと活動し、その姿を家庭でも感じることができるようしていく必要がある。今後さらに、児童や保護者が安心して過ごしていくことができるように、家庭と連携をとりながら学校への期待に応えていきたいと考えている。また、学校への理解とともに協力を得ていることを改めて知るところとなった。教職員一丸となって、北山小学校の教育の充実に努めていきたい。

令和3年度 学校教育診断【児童・保護者・教職員比較】

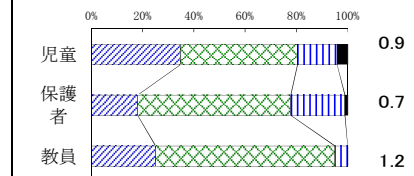
1 学校は楽しいですか



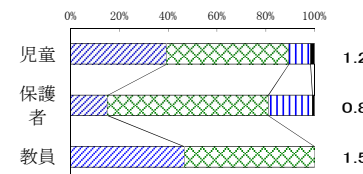
2 環境問題について日頃から意識していますか



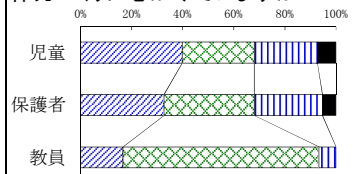
3 友達や教師に進んであいさつができていますか



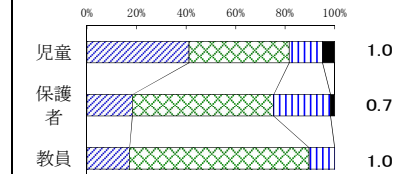
4 学校の授業は分かりやすいですか



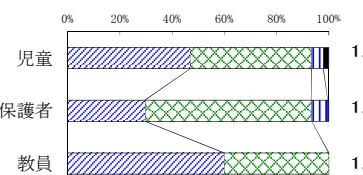
5 外で元気に遊んだり、スポーツをしたりして、体力づくりに心がけていますか



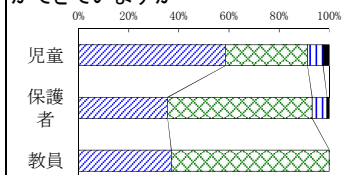
6 将来の夢や希望をもっていますか



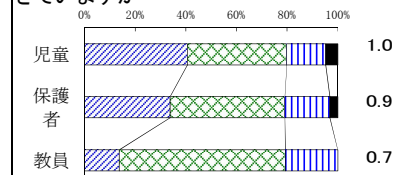
7 社会のルールやマナーを守っていますか



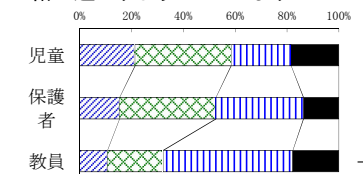
8 学校ではみんなとなかよく遊びや勉強や運動ができていますか



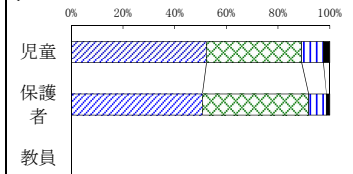
9 早寝・早起き・朝ごはんを心がけた生活ができていますか



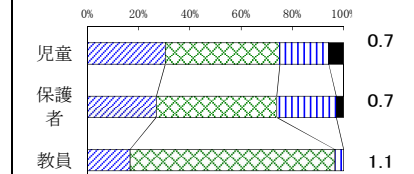
10 きらきらチャレンジウィークでは、最低1日はテレビやゲームの時間を減らすなどして家族と一緒に過ごすようにしていますか



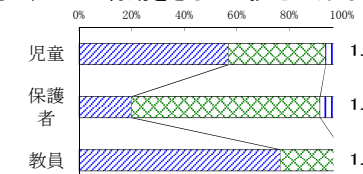
13 運動会やきたちゃん発表会などの学校行事へは、自分からすすんで楽しく参加していますか



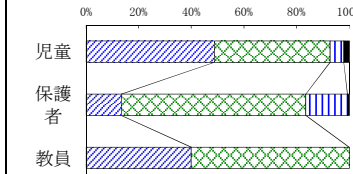
14 図書館まつり、ニコニコデーなど、児童会活動は、楽しくすすんで参加していますか



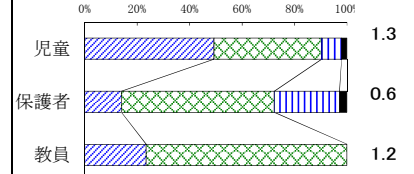
15 先生は、自分たちが間違った行動をしたときに、正しい行動をきちんと教えてくれますか



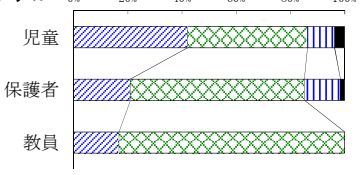
16 先生は、命の大切さを教えてくれますか



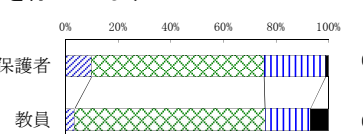
17 子どもは先生に相談できると感じていますか



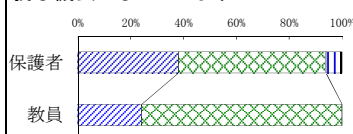
18 先生は子どものことをよく分かってきていますか



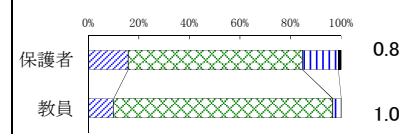
19 学校は地域の方を講師に招いた総合的な学習の時間での体験活動など、特色ある学校づくりを行っていますか



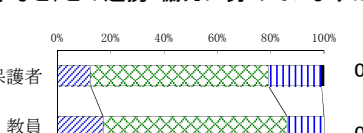
20 学校行事や授業参観などの保護者が来校する機会は子どもや学校の様子を知るうえで有意義な機会となっていますか



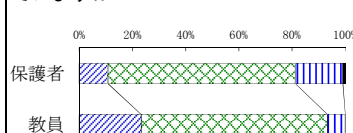
21 学校はたよりやホームページ等で、教育内容や教育方針を分かりやすく知らせていますか



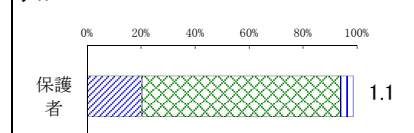
22 学校は家庭や地域(コミュニティ、公民館、大学など)との連携・協力を努めていますか



23 学校は保護者・地域の願いや声を聞こうとしていますか



24 北山小に子どもを通わせてよかったと思いますか



保護者の皆様からのご意見と学校からの回答

ＩＣＴを活用学校運営について

回答

必要に応じて、タブレットを利用した授業や連絡をとったりすることで現実的な対応を行っていきます。欠席連絡については、市内で先行実施している学校がありますので、順次対応していく予定です。ICTの環境が整う中、いろいろな実践を参考にして、多くの家庭で実施できるものを今後検討していきます。

学校と家庭との関わりについて

回答

<ボランティア>

協力したいという声が多数ありました。十分活動できていませんでしたが、PTA委員の活動を軽減したこともあります。「できることで学校を支えていきたい」という考えをもとに次年度そのような場を計画していきたいと思います。

<登校時の立哨や付き添いについて>

みんなでやっていくことに意義を感じ、うまく運用できていたり子どもたちの安全を守っていただけていることに感謝してたりする声も多数ありますが、不公平感を感じている方もみえることもあります。全地区同様に行うことは、現段階では、かなり難しい状況です。上記のように、できることで協力参加していくことでお力をかしていただきたいと思います。

学用品等について

回答

<ランドセル>

用具を入れる道具としてランドセルを多く利用していますが、市内の学校と連絡調整しながら、対応していこうと思います。

<通学団リボン>

色があせたり痛みやすかったりするので、次年度から小型の名札型のビニル製のカラーリボンを利用することにしました。

<タブレットの充電器>

長期に持ち帰る際に不便な面もありますが、管理の面で持ち帰りはしていません。必要な場合は、安価なものを購入し対応をお願いします。

古くなった施設について

回答

市の予算や今後の計画もあるので必要なところの要望を出している状況です。
きれいにすれば何とかなるものは、対応していきたいと思います。その際に児童では、やれきれないことあるので、上記のボランティア等でもお力を貸していただき環境をつくっていききたいと思います。